

小学生対象 映画感想文コンクール2017

『この世界の片隅に』
無料上映会 参加者募集!

日時 8/27 (日)

13:00~16:00

会場 岐阜CINEX

岐阜市日ノ出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前)

定員 190名(抽選)

応募条件 小学生のお子様連れのご家庭

申し込み

〒500-8577 岐阜市今小町10
岐阜新聞広告局「映画感想文コンクール 無料上映会」係
FAX:058-263-7659 メール:eiga@gifu-np.co.jp

締切 8/13(日)必着

お問い合わせ/岐阜新聞広告局 058-264-1158

小学生のみなさんを対象に開催する「映画感想文コンクール」にて、小学生とその保護者向けの無料上映会を開催します。上映作品は、昨年のキネマ旬報ベスト・テン日本映画第1位に輝いた『この世界の片隅に』。映画を観て心に残った場面や感じたことなどを、映画感想文に描いてみよう!たくさんのご応募をお待ちしております!



この世界の片隅に

18歳のすずさんに、突然縁談がもちあがる。良いも悪いも決められないまま話は進み、1944(昭和19)年2月、すずさんは呉へとお嫁にやってくる。呉はそのころ日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄え、世界最大の戦艦と謳われた「大和」も呉を母港としていた。見知らぬ土地で、海軍勤務の文官・北條周作の妻となつたすずさんの日々が始まった。夫の両親は優しく、義姉の怪子は厳しく、その娘の晴美はおっとりしてかわいらしい。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。1945(昭和20)年3月、呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すずさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。そして、昭和20年の夏がやってくる。



(声の出演)のん、細谷佳正、稲葉菜月、尾身美詞、小野大輔、潘めぐみ、岩井七世、牛山茂、新谷真弓/瀬谷天外(特別出演)

監督・脚本:片淵須直 配給:東京テアトル 時間:130分

©この世界の片隅に/双葉社/「この世界の片隅に」制作委員会

映画と育む、コトバとココロ。

映画感想文コンクール
2017

作品募集中! 9/15(金)必着

用紙 お手持ちの原稿用紙またはオリジナル原稿用紙(ホームページでダウンロードできます)

文字数 低学年の部(小学1~2年生):400字以内
中学年の部(小学3~4年生):800字以内
高学年の部(小学5~6年生):800字以内

〒102-0074
東京都千代田区九段南3-7-14 VORT九段2F
キネマ旬報社「映画感想文コンクール2017」係

※お送りいただいた作文は返却いたしません。作文は原則 自筆のものをご提出ください。入賞した作文はお名前とともに、新聞や雑誌などに掲載される可能性があります。
※ご応募いただいた個人情報、主催団体が管理し、本事業に関わる連絡以外の目的では使用いたしません。

【主催】全国映画感想文コンクール実施委員会
【共催】キネマ旬報社 【後援】岐阜県教育委員会 【協力】岐阜新聞社



詳細はホームページにて

映画感想文コンクール2017 検索

2 残像 8/12(土)▶25(金)

2016年10月に急逝したポーランドの巨匠 アンジェイ・ワイダ監督の遺作 戦後の社会主義体制下で、自らの信念を貫き通った 実在のポーランド人画家の生涯を描いた伝記ドラマ



「灰とダイヤモンド」の88年間の抵抗 三部作を代表作とし、その映画人生においてポーランドに誇りを残した アンジェイ・ワイダ監督の遺作。この映画は、ワイダ監督が描いた世界で、信じてきた道を歩いた人々の物語。この映画は、ワイダ監督の遺作として、彼の人生を描いた伝記ドラマ。

1945年、スターリン主義時代のポーランド。画家で大学教授のストウシェムスキは、第二次世界大戦前、国内外で称賛を浴びていた。彼を慕う学生たちは彼を「近代絵画の救世主」として崇めているが、政府の意向に従わざるを得ない大学や文化省は、芸術は政治の理念を反映するものだ、芸術家や学生たちに強制していく。その締め付けは次第に人間の尊厳を奪うものとなっていった。そんな中、ストウシェムスキは己の芸術に妥協せず、作品に政治を持ち込むことを拒み、党規則に反する独自の芸術の道を進み始める。しかし、こうした姿勢によりストウシェムスキは迫害され、大学やポーランド芸術家デザイナー協会から追放されてしまい、食料配給も受けられないどころか、食料よりも大事な画材も入手できなくなっていく。

ボグワフ・ワリダ、ゾフィア・ヴィワチ、クシシュトフ・ビェチンスキ、プロニスワ・ザマホフスカ
監督・脚本:アンジェイ・ワイダ 配給:アルパトロス・フィルム 時間:99分
©2016 Akson Studio Sp. z o.o., Telewizja Polska S.A., E.C. - Łódź, Miasto Kultury, Narodowy Instytut Audiovizualny, Festiwal Filmowy Camerimage-Fundacja Tumult All Rights Reserved. ポーランド

3 ボンジュール、アン 8/12(土)▶25(金)

「ゴッドファーザー」シリーズのフランシス・フォード・コッポラ監督の妻でドキュメンタリー監督のエレノア・コッポラ初長の長編劇映画 子育てを終え、人生の一区切りを迎えた女性が「忘れていた自分」に出会うロードムービー

ジャックがとにかくマイペース! 終始アンを振り回しますが、この作品を観るとたまには振り回されるのも悪くないかな!と思っちゃうから不思議。毎日の生活に少しうんざりしている貴方にぜひオススメです!

アンは少しがっかりしていた。映画プロデューサーの夫マイケルとカンヌ国際映画祭にやってきたのだが、そのままパカンを楽しむはずが、新作の撮影で急遽ブタペストへ飛ぶことになってしまったのだ。とはいえ、そんなことはいつものこと。荷造りはすべて妻任せ。服のサイズも読みかけの本の置き場所も、アンがいなければ何とつづからないのもいつものことだった。マイケルの仕事仲間のジャックに送られて空港まで行くが、アンは耳の具合が悪く、飛行機をやめてパリの友人のアパートで休むことにする。パリに戻るジャックの車に同乗することになるのだが、「まずランチです」とレストランに誘われ、美味しいワインと生ハムやメロンを口にした時には、人生を楽しむ術に長けたフランス人男性が案内する寄り道の旅が始まっていた。

ダイアン・レイン、アレック・ボールドウィン、アルノー・ヴィアール
監督・脚本:エレノア・コッポラ 配給:東北新社 STAR CHANNEL MOVIES 時間:92分
© American Zoetrope, 2016 アメリカ

映画部員No.1 菊池亜希子さんのオススメ作品!

世代の異なる3人の女性が、みんなそれぞれに魅力的な少女心、ロックな魂、眠っている母性。私の中に隠れていたいろんなツボが刺激され、観ている間ずっと心が熱くなっていました。



1 20世紀ウーマン 8/5(土)▶18(金)



誰にでも生みの親がいて、その親にも親がいる。そんな家族の繋がりをしんわりと感じられる愛に溢れています。子は母を、母は子を愛しながら生きて欲しい作品。エルファニングの小惠麻呂ぶりにハマる人続出の予感!

1979年、サンタバーバラ。シングルマザーのドロシアは、思春期を迎えるひとり息子ジェイミーの教育に悩んでいた。ある日、ドロシアは家の部屋を借りしているパンクロック好きな写真家ピーと、近所に住む幼なじみで友達以上恋人未満の関係であるジュリーに「複雑な時代を生きているのは難しい。彼を助けてやって」とジェイミーの成長の手助けをして欲しいと願います。やがてジェイミーはピーやジュリーから薦められたフェミニズムの本を読み、男らしさとは何かを女性たちから見つけようとしたり、パンクロックを聴くようになり、ロサンゼルスへのドライブに出発していき。こうして、15歳のジェイミーと時代の転換期を生きた彼女たちの、特別な夏が始まった。

アネット・ベニング、エルファニング、グレッタ・ガーウィグ、ルーカス・ジェイド・ズマン、ビリー・クラダップ
監督・脚本:マイク・ミルス 配給:ロンライド 時間:119分
©2016 MODERN PEOPLE, LLC. ALL RIGHTS RESERVED. アメリカ

4 君はひとりじゃない 8/19(土)▶9/1(金)

第65回ベルリン国際映画祭で銀熊賞(監督賞)受賞 母を病気で亡くし摂食障害になった娘と、喪失感を抱える父の死に何も感じなくなった 検察官の父の再生を描いたヒューマンドラマ

父親のヤマシユとその娘オルガは母親を亡くし、二人で暮らしている。検察官であるヤマシユは妻の死後、事件現場で人の死体を見て何も感じなくなっていた。一方、オルガは心を閉ざし、摂食障害を患っていた。日々瘦せ細っていくオルガを見かねたヤマシユは彼女を精神病院へ入院させる。そこでリハビリを担当しているセラピストのアンナ。患深きアンナは発声練習や感情を出させる練習を積極的に取り入れ、同じ病を患う女の子の治療にあたりながら、豊と交信し、受け取ったメッセージを残された人に伝えることを使命としていた。そんな、ヤマシユの家では水が溢れっぱなしになり、部屋が極度に寒くなったりと思えない出来事が起き始める。それを聞いたアンナはヤマシユとオルガに、母親の豊と交信し直接話すことを試みようとする。

ヤマシユ・ガヨス、マヤ・オスタシェフスカ、ユスティナ・スワラ
監督・脚本:マウジシュ・ウワフスカ 配給:アルパトロス・フィルム 時間:90分
© Nowhere sp. z o.o., Kinoswiat sp. z o.o., D 35 S. A., Mazowiecki Fundusz Filmowy 2015 all rights reserved. ポーランド

5 ヒトラーへの285枚の葉書 8/19(土)▶9/1(金)

ヒトラーの忠実な支持者だった平凡な労働者階級の夫婦が、一人息子の戦死をきっかけにナチス政権への絶望的な戦いを挑む姿を描いたヒューマンドラマ

1940年6月、戦勝ムードに沸くベルリンの古めかしいアパートで質素に暮らす労働者階級の夫婦オットーとアンナのもとに一通の封書が届く。それは最愛の一人息子ハンスが戦死したという残酷な知らせだった。心のよりどころを失った二人は悲しみのどん底に沈むが、ある日、ペンを握り締めたオットーは「総統は私の息子を殺した。あなたの息子も殺されるだろう」とヒトラーへの怒りのメッセージをポストカードに記し、それをそっと街中に置いた。さざやかな活動を繰り返すことで魂が解放されるのを感じる二人。だが、それを嗅ぎつけたゲシュタポの猛捜査が夫婦に迫りつつあった。

エマ・トンプソン、ブレンダン・グリーソン、ダニエル・ブリュール
監督・脚本:マウジシュ・ウワフスカ 配給:アルパトロス・フィルム 時間:103分
© X Film Creative Pool GmbH / Master Movies / Alone in Berlin Ltd / Pathe Production / Buffalo Films 2016 ドイツ フランス イギリス

映画雑誌「キネマ旬報」8月下旬号

表紙は、主人公ならず役の広瀬すず。すずなりに想いを寄せる典道役を演じた菅田将暉と広瀬すずの対談や、同名原作ドラマを手がけた岩井俊二監督と今作の脚本・大根仁と総監督・新房昭之の座談会、宮野真守やスタップ・インテビュー、批評などから作品成立の過程と全貌にせまります。

8月5日発売 850円+税

構想25年の超大作を公開前に観よう!

『関ヶ原』試写会が開催決定!

参加者募集中! 司馬遼太郎の国民的ベストセラーを日本映画史上初めに完全映画化した映画『関ヶ原』の公開に先駆けて、イオンシネマ各務原で試写会が開催されます!現在参加者を募集していますので、この貴重な機会にぜひご応募ください!

日時 8/24(木) 18:30上映開始
会場 イオンシネマ各務原 各務原市那加萱場町3-8 イオンモール各務原3F
募集人数 15組30名様

■応募方法/ハガキに住所、氏名、電話番号をご記入の上、以下の宛先にご応募下さい。
■応募先/〒504-0943 各務原市那加萱場町3-8 イオンモール各務原3F 『イオンシネマ各務原 関ヶ原試写会係』 TEL:058-380-7077

8/26(土)公開

関ヶ原 幼くして豊田秀吉(滝藤賢一)に才を認められ、秀吉の小姓となった石田光成(岡田准一)。成長し大名にとり立てられた三成は自分の石高の半分をもって、猛将として名を馳せた半人・島左近(平岳大)を家来に乞う。秀吉に忠誠を誓いながらも、利権によって天下を治めることに疑問を感じ正義で世の中を変えようとする三成の姿に、左近は「天下悪くし取るとき、ひとり逆しまし走るは男として面白い」と配下に入る。伊賀の忍び・初芽(有村架純)も、「大」として三成に仕えることになる。秀吉の体調が悪く思われない。天下取りの野望を抱く川家康(役所広司)は、秀吉の不興を買った小早川秀秋(東出昌大)や他の秀吉忠臣の武将たちに、言葉巧みに取り入っていく。三成は、そんな家康が気に入らない。1598年8月、秀吉逝去。翌99年閏3月、大老・前田利家(西岡徳馬)も亡くなる。先の朝鮮出兵時から三成に恨みを持つ福島正則、加藤清正ら秀吉子爵の七人党が、三成の屋敷を襲撃する。三成は家康の屋敷に逃げ込み難を逃れるが、このことで佐和山城に監居。家康の影響が強くなっていく。1600年6月、家康が上杉討伐に向かう。上杉家臣・直江兼続(松山ケンイチ)と家康の狭み撃ちを図っていた三成は、盟友・大谷刑部を引き込み、毛利陣元を総大将に立て、三成の西軍、家康の東軍が、覇権をかけて動き出す。1600年9月15日、決戦の地は関ヶ原。三成は、いかにして家康と世紀の合戦を戦うのか?そして、命を懸けて三成を守る初芽との、密やかな「愛」の行方は—。

岡田准一、有村架純、平岳大、東出昌大/役所広司 ほか
監督・脚本:原田真人 配給:東宝 アスミック・エース ©2017「関ヶ原」製作委員会

※当選者の発表は試写会の発送をもってかえさせていただきます。

映画みんと倶楽部 限定上映作品 入場料金

大人 (1,800円のところ)	大学生 (1,500円のところ)	シニア (1,100円のところ)	高校・中学・小人 (1,000円のところ)
1,500円	1,300円	900円	800円

サービスデー 900円

- レディースデー (毎週水曜・女性のみ) (1,100円のところ)
- ファーストデー (毎月1日)
- エリアディナイトサービス (毎日夕方18時以降)

上映作品に関するお問い合わせ 岐阜CINEX TEL 058-264-7151 (岐阜市日ノ出町2-20 柳ヶ瀬・高島屋前)